

整形外科

I. 一般目標

- 1) さまざまな診療行為に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、社会人としての態度を実践より学ぶ。
- 2) 基本的な手技とコミュニケーション技能を身に付け、患者や家族と良好な関係を築いて診療を進めることが出来るようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、講義では得られなかった、より実践的な知識を身に付ける。
- 4) 担当の患者の病因、病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する横断的な知識の応用と、問題解決のための思考過程を身に付けることを目指す。
- 5) 実際の医療に関与する中で、自身の医者としての将来像を具体的に構築する。

II. 行動目標

- 1) コミュニケーションを通じて、患者および家族と良好な人間関係を築くことが出来る
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる
- 4) 主要な症候を理解し、鑑別診断に基づいて診療計画を立案することができる
- 5) 各診療科の主要な検査について、その概要、適応と有用性、および危険性について説明し、結果を理解できる
- 6) 各診療科の主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる
- 7) 収集した情報を基に、問題志向型診療記録(POMR)を作成できる
- 8) 症例を要約して適切な長さで提示(presentation)できる週間を身に付ける
- 9) 診療に必要な知識・情報(MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等)を、適切に検索・収集することができる
- 10) 医療チームの構成員(医師、看護師、その他の医療職)との役割分担と連携・責任体制について理解し、チームの一員として参加できる

Ⅲ. 実習内容と場所

初日の午前中にオリエンテーションを行う。

A. 外来研修(研修場所:整形外科外来、急患室)

1. 病歴の聴取,理学的所見,検査結果から診断におよぶ過程を研修する
2. 一般外来の処置やギプス固定などを研修する
3. 救急外来では、急患への対応を理解し、迅速かつ適切な処置について研修する。

B. 病棟研修(研修場所:4階西、5階東・西)

指導医の下で、指導医が受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の一人として入院から退院までの医療に参加する。

C. 検査・手術(研修場所:手術室、放射線科)

諸々の検査・手術を指導医の下で研修する。

D. カンファレンス(研修場所:整形外来、リハビリ診療科室)に参加する

1. 整形外科カンファレンス～治療方針を決定するとともに、手術の場合は手術法や主治医・術者を決定する（火曜日16時）
2. リハビリカンファレンス～病棟患者や一部外来患者の治療の進捗状況、問題点について検討する（木曜日16時）
3. 早朝カンファレンス～救急外患者のレントゲンチェック（毎朝7時50分）

【週間スケジュール】

	8:00～8:20	8:30～9:00	13:00	16:00
月	レントゲン カンファレンス	外来・手術	手術	
火	レントゲン カンファレンス	外来	ギプス ・ 検査	整形外科カンファレンス
水	レントゲン カンファレンス	外来・手術	手術	
木	レントゲン カンファレンス	外来	ギプス ・ 検査	リハビリカンファレンス
金	レントゲン カンファレンス	外来・手術	手術	

【注意事項】

1. 週間スケジュールに基づき、指導医のもとで外来、病棟、手術室および急患室での研修を行うこと
2. 清潔な服装を心がけ、ネームプレートを常につけること(サンダル履きは禁止)
3. 短期間であるため、積極的な姿勢で研修を行うこと
4. 欠席や遅刻の場合は必ず届け出ること